

## 「ディープステート」論の正しい見方

担当:石田 2024年8月24日

DSを広めた張本人はTrump、彼に反抗する国家官僚。日本の一部保守派は、「グローバリズム」「軍産複合体」「ネオコン」にまで広げて解釈。Putinは米国のDS、ウクのDS。

DSの大半は民主党支持の共産主義擁護者。Trump当選なら、5万人の官僚の交代計画。DSは共和党員にもいるので、O.Y氏によるグローバリズムでの区別はよく分かる。裏面の資料参照

Michael Waller氏のDS定義：CIA、FBI、官僚、ビッグデータの融合。ルーツは共産主義による世界革命運動（内容は「シオン賢者の議定書」参照）。NYには国際共産主義の活動家がたくさん居た。ルーズベルト時代の側近にもいた。一時期共和党マッカーシーによる「赤狩り」で整理。オバマの政策は共産化だった。オバマが任命した『革命家』たちがバイデンを操っている。Trumpが当選したら民主党側のクーデターが起きる可能性あり。前回も、「政権移行一貫化計画（Trumpを阻止し、再選時にはあらゆる手段で政権から追い出す）」を立案。民主主義無視。名声のある弁護士たちが何故？石田私観：ポバー著『開いた社会とその敵（プラトンの呪縛）』「神仏への信仰論者」を敵視。Ex.Trumpの「勤労者のチップ收入無税論」に激怒するIRS（内国歳入長）長官「Trumpは死ななければならない。必要なら私が手配する」ポバー（反証主義科学）は反ハイエクの人。

『グローバリズム』の正しい見方：本来経済用語である。「グローバリズム」という言葉を使わなくても『共産主義』『全体主義』という言葉を使ったほうが本質を明らかにできる。Ex.気候変動は姿を変えた共産主義、ワクチン政策は全体主義、ビッグテックらの検閲産業複合体はリベラル・共産主義的価値観を広げる運動、と理解すれば造語は不要である。

「先祖返り」では未来は開けない：日本の一部保守派は『民族主義』『古い民族宗教への回帰』『古典主義への回帰』など思想上の弱点あり。Trumpが戦う相手は「変異した共産主義」として、米保守層は共感している。反グローバリズム運動という名で過去に逃げ込み、未来を切り開く思想や宗教から目を逸らすな。確かに日本の保守層は無宗教、信仰論がない。（日本神道的チャンネル桜の水島聰社長、古典主義伊藤貫氏、O.Y等への批判かルサンチマンか？）

軍産複合体とネオコンがバイデンを操っているのか？：日本の保守層はそれを肯定し「諸悪の根源」「悪魔視」している。Bidenは信念のない凡人、対露協調主義のTrumpの逆張りで動いただけ。自己防衛本能でアンチTrumpに動き、ウク戦争を起こした。結果として軍産複合体やネオコンの利害と一致しただけ（Globalism過大視論？）。アメリカは乱暴な国、品性に欠けた面があるが、暴力行為の後に結果が良くなる。不思議だが、外科手術のような面がある。主の二大使命 中国開放、イスラム近代化、には外科手術が必要？グローバルサウス過大視、中東過大視は制御不能な世界の混乱を生むという視点が必要だ。中国「水の革命」発生中。

「世界を操作する者」の正体は何か（リバティーの結論）：「何者かが世界を搔き回している」という直感や疑い自体はあながち間違いではない」「世界を操作する者の正体は悪質宇宙人、バイデンを操るのは双頭のゴジラ、ティラノザウルス型宇宙人カンダハールである」「悪の勢力がいつの間にか地下茎のように地面の下で広がっていると認識し、警戒しなければならない」「自分たちの国の指導者もまた、宇宙から来ている暗黒の使者たちに操られ始めているということを知らなければならない」：日本の保守派が、悪の勢力に操られるエリートたちを「グローバリスト」（地球全体主義者でも可）と命名して、警戒し行動しているという視点は取れないか、陰謀論扱いだったQの経緯も参考にすべきではないのか？

結語：O.Y氏らの情報収拾能力は高いものがあるので、無視は不可？主不在の今、一人ひとりの情報処理能力《インテリジェント・リテラシー》と悟りを高めることが必須。